

事務局だより

会議報告

平成24年10月1日より平成25年3月31日まで

●**関東本部役員会**

月日：平成24年12月25日

場所：日立製作所 会議室

出席：関東本部役員

報告事項：

①募金活動の進捗状況について

●**第7回理事会**

月日：平成25年2月26日

場所：主たる事務所

出席：理事・監事

決議事項：

①平成24年度新規助成事業並びに助成金額変更の件

②国宝本殿2棟修理及び周辺整備助成事業準備資金取扱要領の変更の件

③自平成24年4月1日至平成25年3月31日事業年度に係る補正予算書類の件

④自平成25年4月1日至平成26年3月31日事業年度に係る事業計画及び収支予算書の件

⑤資金調達及び設備投資の見込みの件

⑥助成事業準備資金の積立ての件

報告事項：
①自平成24年6月8日至平成25年2月25日の理事長および専務理事の職務執行の報告

②会員数の報告

会員数報告 (平成25年2月10日現在)

賛助会員	53件
団体・法人会員	31件
個人会員	1,215名
合計	1,299件

平成25年度会員証および特典パンフレット

平成25年度の会員証は6月下旬にお届けいたします。平成24年度会員証は6月30日まで有効です。ご利用いただけます。

新入会員ご誘致のお願い

多くの方に世界遺産糺の森の保存にご理解ご協力をいただきたく願っております。新入会員のご誘致をよろしく願いたします。ご連絡いただければ「入会案内パンフレット」をお届けいたします。

ご寄付のお願い

平成24年度も多くのご寄付をいただき、糺の森の整備・神社建造物の修復を実施することができました。ありがとうございました。平成25年度も引き続きましてご寄付をよろしく願いたします。同封の振込用紙をご利用ください。

糺の森カード特典利用先の変更

ホテルアバンセル京都が1月末で閉館の為削除いたします。

下鴨神社だより



- 4月29日 市民植樹祭 (午前9時～)
- 5月3日 流鏝馬神事 (午後1時～)
- 5月12日 御蔭祭 (午前9時～)
- 5月15日 賀茂祭／葵祭 (午前11時40分～)
- 6月8日 螢火の茶会 (午後5時～)
- 7月19日～22日 みたらし祭 (午前5時半～)
- 8月6日 矢取り神事 (午後6時半～)
- 9月19日 名月管絃祭 (午後6時半～)

糺の森ぐらぐらり第6回
 不思議な森との出会い
 糺の森NEWS／催事案内

表紙写真／水野克比古

編集・発行

公益財団法人
世界遺産賀茂御祖神社境内糺の森保存会事務局
 〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 賀茂御祖神社内 ☎075-781-0010
www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z

糺の森
 題字
 賀茂御祖神社
 新木直人宮司

糺の森財団

評議員 野々内 隆

(財)経済産業調査会 理事長



私たちは生活の中で、多くの共同体に身を置いております。家族や学校、会社、趣味の集まりなど様々です。そして、これらの共同体が社会を構成しているのです。
神社も社会の重要な共同体の一つであると思います。村社会では寄合や祭礼を通して、統一した意識のもと秩序を保ってきました。地域の集会場が神社に多いのはこのためです。現在、私たちを取り巻く生活環境は大きく変わり、人と人のつながりの希薄さを意識することもあります。しかし、時代が変わろうとも、隣人を思いやる気持ちを失わなければ、明るく住みやすい社会を築けると信じております。この気持ちには、一寸した言葉や挨拶をかわすといった些細なことでも十分培われるでしょう。下鴨神社の森には自然とそうさせてくれる雰囲気があるのです。

糺の森が近隣にお住まいの方々はもとより、世界中から訪れる人々にとって心の拠り所であり、かけがえのない存在であることは世界文化遺産に登録されたことから伺い知れます。この森での交流を通して育まれた絆が、良好な人間関係を構築し、円満な共同体、そして明るい社会をつくるきっかけになることを願ってやみません。
伝統文化の継承には、受け取る側が知識や理解を深め、積極的に取り組もうとする感覚を養うことが重要です。糺の森の保全は、その基礎となる人格形成に必要な環境を守ることにつながるのです。この糺の森の貴重な価値をご理解いただき、皆様からのなお一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

不思議な森との出会い

京都大学名誉教授・京都学園大学教授
森本 幸裕



学生時代に下鴨泉川町に下宿した時から、もう四十年。最初にじっくり糺の森を観察する機会を持ったのは、一九七〇年大阪万博の跡地の記念公園に自然林を再生するプロジェクトに参加したときでした。六千四百万人という入場者の世界記録を打ち立てた万博の跡地を森と水の文化公園にするプロジェクトでは、いわゆる「自立した森」という、地域の自然林の再生が重要なテーマでした。「環境事業計画研究所」を主宰する吉村元男さんが手がけられた、万博記念公園の自然文化園地区の基本設計に、アルバイトとして前代未聞のプロジェクトに参加できたのは、私にとって大きな経験となりました。当時は造園設計コンサルタントという職業が生まれたての頃。自然林の樹種を扱うことがなかつ



でも立夏と
ました。現在
製されてい
儀として奉
御神服が祭
夏用、冬用の
この社殿で
とで、古くは
る装束のこ
お召しにな
通り神様が

平成20年度より実施しております。建造物の保存修理事業として、現在、重要文化財「神服殿」の修理工事を施工致しております。この社殿は、寛永6（1629）年の建造で、幾度も修理工事を経て、当時の姿を今に伝えています。神服とは、文字通り神様が

重要文化財 神服殿 保存修理工事

重要文化財保存修理等の事業に
助成いたします

助成事業

糺の森 NEWS

発行所 公益財団法人
世界遺産賀茂御祖神社境内
糺の森保存会事務局
www.eonet.ne.jp/~tadsumomori-z

立冬には「更衣祭」として、御本宮の神様の御神服を入れ替えるお祭を行っています。また、行幸には殿内の一間を玉座とする「開けずの間」があり、5月15日の葵祭の際、斎王代以下女人列の座としても使用されています。

この度の保存修理工事では、檜皮屋根の葺き替え、雨水により痛みの激しい木部の修理、さらには鍔金具の補修、漆喰壁の塗り替えを行います。工事は4月末を予定しており、本年の葵祭では、優美な本来の姿をご覧頂けます。

糺の森財団助成金額：22,500,000円

第2期糺の森整備工事/ 河合神社東西透塀 保存修理工事

糺の森の南側にお祀りされている第一摂社の「河合神社」。その中門の左右に接続されている「東西透塀」の老朽化が著しく、昨年7月の集中豪雨により屋根が崩れるなどの被害を受けておりましたので、参拝者への危険防止として撤去作業を施工し、現在は塀の無



ユニークな鎮守の森として、テレビ朝日で糺の森を紹介(2012)。

たし、大規模造成地の自然再生なんて、全く日本で最初のプロジェクトなので、設計も手探り状態だったので。そんなとき、京都市の北にある京都大学芦生演習林の天然林植生を修士論文研究で手がけた私は、多様な樹種とその生息環境についての勘はあるといふことで、吉村さんの仕事の手伝いをするようになったのです。設計のためには立派な見本となる森の

ようすを知らなくては、ということ。植樹された東京の明治神宮や奈良の檜原神宮も含めて、いろんな鎮守の森も見て回りました。そうすると、気候がほぼおなじところで年数を経た立派な森は概ね常緑樹なのですが、糺の森だけはなぜかニレ科の落葉樹が多い。その違いはこの立地が鴨川や高野川の氾濫原であることに対して、他はもつと古い地質であることに気がつきました。このとき演習林の伊佐義朗先生に重要なことを教わりました。

「数十年に一度の大洪水で破壊されたあとに再生するのは、成長の早いニレ科の樹木で、安定なところにはシイやカシ類が成立して、もつと攪乱が激しいところはヤナギになる。こういうモザイク構造が人類が定住する前の山城原野だったのではないか」とのことでした。なるほど、花粉分析では数千年前にはニレ科樹木が優占していた時代があったことが分かっています。

私は、学生たちとともに、一九九一年に全部の高木樹木の種類と大きさを調べたことがあります。その後、長期的な継続調査、モニタリングの重要性が世界的にも認識されるようになって

り、二回の調査も行われています。それらの結果を見ると、かつてサッカーで荒れていた森が立ち入り禁止区域の設定などで、立派になってきて、深山幽谷のランと思われるいたタシロランも発生するようになった反面、常緑樹のアラカシが顕著に増えてきて、どんどん暗くなり、ササが少なくなり、アオキをはじめ林床植物も少なく



なり、ムサシアブミは絶滅してしまっただようです。昭和九年の室戸台風以来、大規模攪乱がないことが、ユニークな糺の森の特徴が薄れていく要因となっているといえます。この糺の森でも、これまで問題視されていた、植栽されたクスノキだけでなく、アラカシ除伐のような里山管理が必要になってきそうです。

い姿となっております。

この度、この「東西透塀」が、史跡糺の森の構成に欠かせない建造物であることから、国庫補助(記念物)事業として、2カ年度にわたっての保存修理工事を実施することとなりました。撤去保存した材料を、可能な限り再利用して復元を進め、平成25年9月末日の竣工を目指しております。

糺の森財団助成金額
.....7,000,000円

重要文化財 細殿 周辺整備工事

平成24年の夏に保存修理工事を終えた重要文化財「細殿」。その東庭と周辺の整備工事を実施致しました。



社殿の正面を神宮垣と松明垣で囲い、合わせて東庭の美観整備として、周辺の樹木の移植と、桔梗の植栽工事を実施しました。植栽された桔梗は「秋の七草」に数えられ、6月から9月の間に花をつけますので、ご参拝の皆様方にも楽しんでいただけます。

糺の森財団助成金額：5,000,000円

重要社殿 河合神社 防犯防災設備工事

河合神社境内の防犯防災設備工事を実施しました。この工事は、数カ年計画として実施することとなり、本年度は第1期工事として施工しました。

糺の森助成金額：17,200,000円

他の助成事業

重要文化財橋殿周辺整備工事
.....7,500,000円
老朽化が進んでいた橋の架け替え工事

境内環境保全事業
.....2,000,000円
補助対象外環境保全工事、危険木の伐採等

重要社殿河合神社周辺整備工事
.....10,000,000円

古文書等保存事業
.....2,500,000円
「元三御棚神饌之図」をはじめ重要資料の保存修理及び復元新調事業

国宝本殿仮殿造営工事
.....41,000,000円
国宝本殿工事中の仮の御殿、「仮殿」の造営工事

催事案内

遊び、学ぶ、
糺の森のつどいあれこれ

お問い合わせは糺の森財団事務局まで ☎075-781-0010

「春の」 糺の森コンサート 「音の森」

日時:4月29日(月・祝)
5月11日(土)25日(土)
6月22日(土)
時間:午後2時~3時(予定)
場所:河合神社(糺の森南側)拜殿
参加:無料(自由)

幅広い分野の演奏者による、自然の中で楽しめるコンサートを開催していきます。春の一日、気持ちのいい森の中でお楽しみください。

4月29日は和太鼓パフォーマンスの「蓮風」が森の中で演奏します。



第23回 糺の森市民植樹祭

日時:4月29日(月・祝)
午前10時~12時
場所:糺の森馬場特設会場
「糺の森」は3万6千坪の森で、古代山代の樹林を構成していた樹種がそのままに自生し、原生林の植生を伝える学術的、文化的に貴重な自然林で世界遺産です。この森を守るため、毎年「市民植樹祭」を実施し、多くの方々に植樹をしていただいております。当日受付しますのでお気軽にご参加ください。



第23回 蛍火の茶会

日時:6月8日(土)午後5時~9時
場所:下鴨神社楼門内
平成3年に明治の納涼茶席を約100年ぶりに再開した「蛍火の茶会」。絶滅寸前となっていたが、森の中の川の整備を進めたことにより、再び昔のように飛び交うようになった蛍とともに、裏千家によるお茶席をお楽しみください。



参加方法:

- お茶席
財団会員および招待者のみ参席。会員の方は事前申込(5月中旬案内)。当日財団入会者も参席可
- 蛍鑑賞(境内)
自由。7時半頃に御手洗池に放流。

同時開催 「糺の森納涼市」

時間:午後1時~9時 場所:楼門前
明治時代の風情を楽しめる納涼市。京菓子・京漬物・お酒など有名老舗約20店が出店します。お買物をお楽しみください。

●苗木植樹

ムク・エノキ・カツラなどの苗木を植樹していただきます。子どもも大人もどなたでも参加OK。森の育成にご協力ください。

参加費:1,000円(1名)

※スコップ・花鉢付き

申込:当日9時から会場受付にて

●成木献木

子どもや孫の誕生、結婚30周年など記念に成木を植樹して、森に思い出を残してください。お問い合わせ、お申込みは事務局まで。

献木代:100,000円(1本)

※枯れ保証付き

事務局:下鴨神社内

☎075-781-0010

申込:4月20日までお願いします

「世界遺産 京都下鴨神社展」

下鴨神社が所蔵する祭具や屏風、そして装束や資料など、門外不出の社宝を展示する特別展覧会。普段ご覧いただくことのできない品々が展示されます。名古屋で第5回目の開催となります。この機会に是非ご覧ください。

日時:7月31日(水)~8月5日(月)

午前10時~午後6時

場所:名鉄百貨店本館10階クローバーサロン(名古屋駅前)

参加:無料(自由)



世界遺産 糺の森文化講演会 平成25年夏講座

月日:8月中旬

場所:下鴨神社

参加:無料

現在内容については検討中です。決定次第、ホームページやチラシ等でご案内いたします。もう少しお待ちください。



詳細はホームページをご覧ください。

糺の森財団

www.eonet.ne.jp/
~tadasunomori-z

下鴨神社

www.shimogamo-jinja.or.jp

「ロマンとサプライズの宝庫・糺の森」

平成25年3月23日に下鴨神社の研修道場において、京都産業大学教授の鈴木久男氏を講師にお迎えして開催いたしました。京都市内の多くの遺跡発掘調査にかかわり、特に金閣寺や鳥羽離宮跡など水辺の庭園遺跡の調査・研究を行ってこられた鈴木氏が、遺物から見た糺の森を興味深く語っていただきました。



世界遺産糺の森文化講演会 開催



3年目を迎えた今年の秋はより幅広い企画で開催いたしました。9月はデュオ「森の詩」によるオカリナとマリンバコンサート、10月は弦楽4重奏とトロンボーンカルテットの演奏とオリジナル朗読オペラの上演の2部構成、11月は下鴨神社ボイスアウトによる「下鴨神社式年遷宮奉祝



歌」、そして12月はプロギタリストの宮野入悠太郎氏のギターコンサート。「音の森」でしか聞けない見られない演奏で観客の皆様は大変好評をいただきました。

秋の糺の森コンサート「音の森」 開催

世界遺産糺の森絵画コンクール終了



糺の森財団30周年記念行事として実施いたしました絵画コンクールですが、京都市内の小学生242名のご応募をいただきました。審査の上、千理市長、ご挨拶



上、糺の森財団理事長賞1名、下鴨神社宮司賞1名、京都市長賞1名、糺の森財団奨励賞30名、学年別優秀賞18名を選出、平成24年10月には千玄室理事長・門川大作京都市長・新木直人下鴨神社宮司にご出席いただき、表彰式を開催。そして平成25年1月に下鴨神社において全作品を展示した作品展を開催し、全行事を終了いたしました。

実施にあたりましては、京都市・京都市教育委員会・京都新聞社・KBS京都からご後援、コクヨ株式会社からは各賞品のご協力をいただきましたこと、御礼申し上げます。



表彰式 門川市長表彰



糺の森財団理事長賞

- ◆糺の森財団理事長賞
矢賀紀蓉佳様(京都市立葵小学校6年)
- 「下鴨神社 糺の森」
- ◆下鴨神社宮司賞
入江有香様(京都市立松ヶ崎小学校6年)
- 「今と昔がつながる場所」
- ◆京都市長賞
宮本香美様(京都市立下鴨小学校4年)
- 「糺の森 古本まつり」